

開催月日 : 平成 27年 12月 15日

平成27年度第3回  
定期巡回・随時対応型訪問介護看護連携推進会議


時間	am / (pm) 18:30 ~ am (pm) 19:30	場所	千代区役所4階A会議室
司会	峯 俊美		書記
出席者	高齢介護課事業指定係: ████████ 様・██████ 様		
	千代田区社会福祉協議会: ████████ 様		
	千代田区高齢者あんしんセンター: ████████ 様(麹町)・██████ 様(神田)		
	医療機関: ████████ 様(千代田区医師会) ████████ 様(九段坂病院) ████████ 様(三楽病院)		
	██████ 様(三楽病院) ████████ 様(杏雲堂病院)		
	訪問看護: ████████ 様(九段訪問看護) ████████ 様(アクア訪問看護)		
	地域住民の代表者: ████████ 様(民生委員)		
	知見を有する者: ████████ 様・澁谷直子様・██████ 様・██████ 様(介護支援専門員)		
	██████ 様・██████ 様(介護支援専門員) ████████ 様(サン・居宅支援介護サービス)		
	かんだ連雀: 峯俊美・浅見達也・尾崎正紀		
グッドライフケア24: ████████・██████・██████・██████・██████			
会議内容	1. 開会挨拶 グッドライフケア東京 取締役 ████████		
	2. 事例についての説明 かんだ連雀いつでもサポートサービス 峯 俊美		
	3. サービス提供状況報告&事例紹介 グッドライフケア24 ████████ かんだ連雀いつでもサポートサービス 浅見 達也		
	4. ご出席者皆様よりご意見、講評		
	5. 閉会の挨拶 かんだ連雀いつでもサポートサービス 峯 俊美		

詳細

1. 開会挨拶

この定期巡回というサービスは今後在宅におけるケアの主になるサービスになると思うので、皆様この場で学んで成果の高いケアにしていきたいと考えています。情報量が多いという事で介護士、看護師の連携が密に取れると考えられます。千代田区を日本の中心として定期巡回を推進できればと思います。今日は宜しくお願い致します。

2. 事例についての説明

今までは、グッドライフケア、かんだ連雀の方で担当させて頂いているご利用者様を事例として挙げさせて頂いて皆様に定期巡回のサービスを理解して頂いておりましたが、今回は志向を変えまして、定期巡回サービスの中の課題や取り込んでいる事柄を中心に紹介させていただきますので、それを踏まえてご評価を頂ければと思います。

3. サービス提供状況報告&事例紹介

詳細: 資料参照

4. ご出席様皆様よりご意見とご講評

澁谷直子様(介護支援専門員)

緊急コールを何度も使用されていたとのことですが、利用者様は現在精神的に落ち着かれたのでしょうか？(グッドライフケア24・濱崎)30分のケアでは、退出直前に利用者様から「あれをやってほしい、これをやってほしい」と要望があり、実質60分ぐらい滞在していることが多く、60分ぐらいいると落ち着かれることが多いと評価して60分のサービスに変更してからコールを頻繁に使用することは無くなっている。

高橋誠様(高齢者あんしんセンター神田)

利用者様がコール機を使用してから5分以内に来てほしいとお話があるようですが、利用者様が転倒された時にグッドライフに連絡していたのですか？(グッドライフケア24・濱崎)夜中の3時頃に連絡が来たがヘルパーはちょうど緊急訪問で他の利用者様に介入中でした。転倒といっても玄関で座り込んでしまったという内容であり、ご家族様には「寒いと思うので毛布などを掛けてお待ちください」とお伝えし、夜勤ヘルパーには「今の緊急訪問が終わった後に訪問して下さい」と指示して、その後訪問したがご家族から遅いと言われてしまった。ご家族様からは緊急時なんだから5分以内に来てほしいと訴えがあった。私たちが説明する際に緊急時に使用してくださいと伝えるので、誤解を招いてしまった可能性もある。救急車のような緊急時対応はなかなか難しいと付け加えて説明する必要があったと考えている。

様(杏雲堂病院)

緊急だと判断して、救急車を呼んだ方がいい場合もありますよね？オペレーターが状況を判断して救急車を呼ぶこともあるのですか？(グッドライフケア24・濱崎)私たちがオペレーターをしていて、訪問するスタッフに連絡するだけで5分ぐらいかかってしまうので、救急車と同じような対応は難しいと考えていて、状況を聞いて私たちが行くまで待っているのは時間の無駄だと判断した場合は救急車をお願いする場合があります。

様(民生委員)

統合失調症などの精神疾患がある利用者はコール機を使用するのは難しいのではないかと

(グッドライフケア24・濱崎)中には話を聞いて安心される方もいるが、難しい方もいます。

峯俊美様(かんだ連雀)

このようなジレンマがあります。例えば独居の方のお宅へ訪問した時に転倒していた場合、私たちが専門性を持って救急車を呼んだ方がいい、訪問看護に連絡をして支持を仰いだ方がいいなどの判断をしますが、お一人暮らしの方だとスムーズに行くことが多いが、この間のケースでは利用者様が転倒しているときに訪問した際、医療機関に連絡した方が良かったと判断したが、同居されていたわけではないが娘様がいらっやして「治療費がかかってしまうので、医療機関を使う事は望まない」ということで、医療機関につなげるべき状況であったがなかなかつなげられないということがあった。最終的には往診のDrや訪問看護の方に協力して頂いたがなかなか納得されず数日経ってから入院する運びになった。利用者様の為に私たちがサービスを行っているが、このようなジレンマもあると事例として発表させていただきます。

様(あんしんセンター麴町)

この会議の目的は、定期巡回というサービスを良くして行こうということだと思うので、これだけたくさんすばらしい方々がいらっやるので困っている事、わからない事、アドバイスなど色々な方々の意見を聞いてサービスの向上につなげて頂ければと思います。これだけの人がいると自ら発言するのは気が引けると思うので、時間の中で工夫をして皆で発言できるような場にしていければ良いと思う。

(かんだ連雀・峯)今後志向を凝らしていきたいと思いますが、定期巡回を良くする為に皆さまから意見を頂けると幸いです。人数に関してですが、今回は30名いらっやいます。人が多いとやはり気が引けてしまいますでしょうか？検討致します。

様(杏雲堂病院)

病院からみてみますと、こういう患者さんを地域にお願いしても大丈夫かと不安に感じていまして、このような事例を見せて頂くと「こういう事もやって頂けるのか」と思えます。課題があったとしても地域の通して色々な連携の仕方があるんだと学ばせて頂くのでとてもありがたいと思っております。

様(三楽病院)

定期巡回というサービスはお聞きするばかりで、退院された患者様が利用する場合はあるのでしょうか？  
また情報があれば、進めることは出来るが最終的にケアマネージャーがプランを作成するので立場的に言いにくい所もある。  
実際に定期巡回を進める事もあるが、やはりケアマネージャーさんによって「検討してみます」という人もいるし「うちでは難しいです」と言われてしまう事もある。

様(三楽病院)

退院カンファレンスの時に、転倒の危険がある場合にここでお話を聞いていますので、定期巡回で対応できませんかとお話しさせて頂くこともありますが、先ほどあったようにやはりケアマネージャーさん次第になってしまう。  
その方の事を考えると非常に良いサービスだと思うのでうまく活用出来ればとは考えております。  
(かんだ連雀・峯)このような現状がわかり、課題が見えました。

## 5.閉会の挨拶

閉会のあいさつをさせていただきます。先ほどは総合事業という話から色々な話を先生から聞きましたが、ボランティアが主体としての事業をしていくか。そこでメッセージの中に社会参加であるという話がありました。

在宅で生き生きと生活する為には、その人が生きがいをもって生活することが大切だという話がありました。

ためには生きがいを持って生活することが大事だと思います。例えば昔保健士として働いていた場合、その方に社会参加をして頂き社会として助かる方法としてボランティアとして保育園へ行ってお手伝いをしてもらおう。

そのようなことも視野を広げて考えていく必要があるという話をされていました。とても共感しました。

我々定期巡回が総合事業との絡みの中でどのようにして行くかという事は勉強していかないと行けないが、

間違えてはいけないのは「その人はその人らしい生活をする」ということは根源があるので、その根源に向かってお手伝いをしていきたいと思っております。本日はお忙しい中ありがとうございました。

次回開催予定:平成28年 3月中旬頃予定